



タキイ交配  
ホウレンソウ

# 「晩抽サマーヒット」<sup>ばんちゅう</sup>

軸の太りがすぐれる晩抽多収種の登場で  
春夏どおりもさらなる安定生産へ！



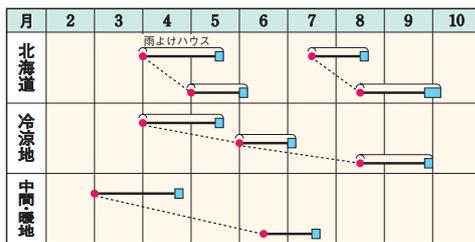
べと病R	1-11	12	14	16	18
		13	15	17	19

品種審査会  
「春まきホウレンソウ」  
の部で1等受賞！

東京都種苗会主催の第64回野菜・花き種苗改善審査会（2022年6月開催）において、上昇気温下で徒長する品種が多い中、葉柄が間伸びしにくく株張り、葉色、生育ぞろいがすぐれることが評価され、「晩抽サマーヒット」が1等を受賞しました。

**ポイント**

- ✓ 葉は濃緑で肉厚。株張りのよい晩抽多収種。
- ✓ 萎凋病に耐病性があり、べと病に強い。
- ✓ 草姿立性で葉柄がしなやかなため収穫が容易。



ホウレンソウは冷涼な気候を好むため、気温が上昇する6～8月にかけては高冷地や高緯度地域の冷涼地が主要産地となります。しかし、近年の気候変動により、今まで通りの栽培管理が通用しない場面が増え、安定した栽培が難しくなっています。特に、日照不足による軟弱徒長や高温による生育停滞などが原因で出荷量が減少する7～9月に、いかに安定して出荷ができるかが産地の課題となっています。

ホウレンソウは冷涼な気候を好むため、気温が上昇する6～8月にかけては高冷地や高緯度地域の冷涼地が主要産地となります。しかし、近年の気候変動により、今まで通りの栽培管理が通用しない場面が増え、安定した栽培が難しくなっています。特に、日照不足による軟弱徒長や高温による生育停滞などが原因で出荷量が減少する7～9月に、いかに安定して出荷ができるかが産地の課題となっています。

「晩抽サマーヒット」は、主力産地で試作を重ねた結果、収量性が評価され育種目標に達していることが確認できたため、発表の運びとなりました。曇天、高温でも比較的安定して収穫できる「晩抽サマーヒット」を使用することで夏場の安定生産につながると考えられます。

タキイが2018年に発表した「タフスカイ」は、夏場の重要病害である萎凋病への耐病性と耐暑性にすぐれた早生種で、高温期の栽培となる7～8月まで安定して収穫ができる夏どり品種として冷涼地・一般地の主要産地で好評いただいています。一方、「晩抽サマースカイ」はじっくりとした生育で収穫・調製作業がしやすい、4～8月まで可能な晩抽品種ですが、さらなる収量性の向上が課題と捉え、葉軸の太りがよく、徒長しにくく多収となる晩抽品種を目標として育成を進めてきました。



タキイ茨城研究農場  
かんだ たくや  
神田 拓也

# 品種特性

## ▶多収性にすぐれる濃緑種

葉は肉厚で葉柄が太るため株張りがよいことが特長です。徒長しやすい条件でも葉柄が間伸びしにくく、収量が安定します。また、葉色が濃いため色が淡くなりやすい時期でも品質を損ないません。

## ▶収穫・調製作業が容易

草姿は立性で葉柄がしなやかで折れにくいため、収穫・調製作業が容易に行えます。

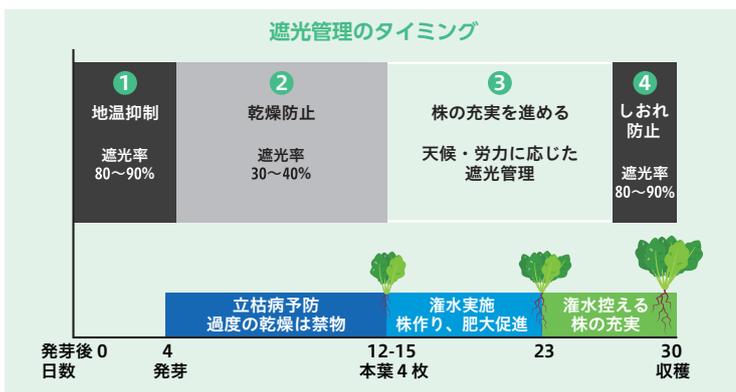
## ▶在圃性にすぐれる晩抽種

生育はじっくりしており、収穫期間が比較的に長いので在圃性にすぐれます。晩抽性が安定しているため、春～夏まで幅広く栽培が可能です。  
※ただし、北海道の5～6月まきは除く。

## ▶萎凋病耐病性、べと病抵抗性をもつ

萎凋病に中程度の耐病性を持ち、べと病レース1～11・13・15・16・18に抵抗性を持ちます。

## 栽培ポイント



### 2 遮光資材を活用した高温期の温度管理

遮光管理のタイミングには4つポイント

**1 生育ステージに応じて、灌水を実施**  
「晩抽サマーヒット」は葉肉が厚くなる特性をもちますが、乾燥した圃場ではその特長が発揮できない場合があります。特に生育中盤(本葉5～6枚)以降は、1回の灌水量を多めに実施することで肉厚となり、葉焼けなど高温障害発生のリスクを軽減できます。

## 春夏どり「晩抽サマーヒット」「タフスカイ」の使い分け

### 晩抽サマーヒット



「晩抽サマーヒット」は株張りがよく収量性にすぐれ、4～8月まで播種が可能な春夏どりの基幹品種としておすすめします。生育がじっくりで在圃性があるため、計画的に出荷を行う段まき栽培に適した品種です。温暖で曇天が多く、早生品種では徒長しやすい5～6月まきが特に特性を發揮します。

### タフスカイ



「タフスカイ」は耐暑性、萎凋病耐病性にすぐれる夏どり早生種です。

「晩抽サマーヒット」より株張りは劣りますが、高温による生育停滞や、萎凋病の発生が問題となる場合は、高温下での栽培がより安定する「タフスカイ」をご使用ください。

### 本州冷涼地における推奨作型表

品種	播種期	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
晩抽サマーヒット (晩抽サマースカイ)	播種期								
	収穫期								
タフスカイ	播種期								
	収穫期								

### 萎凋病耐病性比較

品種名	萎凋病耐病性	備考
タフスカイ	◎	萎凋病に対して強度の耐病性をもつ
晩抽サマーヒット	○	萎凋病が激発する圃場では罹病する可能性がある
晩抽サマースカイ	○	

があります。**1** 発芽までは遮光率の高い遮光資材(80～90%)で地温を下げるのが重要です。**2** 発芽後、遮光率の低い遮光資材(30～40%)に切り替え、立ち枯れが心配な時期まで地温上昇と乾燥を防止します。**3** 本葉4枚目以降は、株張りを充実させるため基本的には遮光を外しますが、曇天が続いたあとの高温時など、生育に影響を与える場合は天候に応じた遮光管理が必要です。遮光資材の上げ下げが難しい場合は、遮光率が低い遮光資材(30～40%)を使用します。**4** 収穫時は遮光率の高い遮光資材を収穫前に日に掛けて、しおれを防止します。

### 「晩抽サマーヒット」栽培メモ

最適作型	北海道	4月まき→5～6月上旬どり、 7月中旬～8月中旬まき→8月中旬～9月どり
	冷涼地	4～8月中旬まき→5月中旬～9月どり
	中間地・暖地	3～6月中旬まき→4月中旬～7月中旬どり
耐病性	べと病レース1～11・13・15・16・18 萎凋病耐病性(中程度)	
最適土壌	耕土が深く、排水のよい肥沃な土壌	
基本肥料の目安 (10a当たり)	元肥 N:P:K=15:20:15kg	
栽培管理の 温度目安	25～30℃を目標に遮光管理 ※遮光管理は栽培ポイント参照	
播種基準	条間15～20cm、株間は6～8cm	